



VoIP技術者としての信頼性とモチベーションが向上しました。

沖電気とNECが共同で運営しているIP電話普及センタ（IPTPC：IP Telephony Promotion Center）では、IP電話普及促進活動の一環として「VoIP認定技術者資格制度」を核とした教育サービスを提供している。

2002年11月から開始されたVoIP認定技術者資格制度は、2004年4月には資格取得者が2,000人を超え、VoIP / IP電話関連教育における業界標準としての地位を確立しつつある。

ここでは、同資格制度の取得者の方に、資格取得の目的や実際の業務での活用などについてお聞きした。

【VoIPアドバイザ資格】
自身の実力を試すつもりで
資格取得試験を受験しました

NTTコミュニケーションズ㈱
寺林 修氏

はじめに、VoIP認定技術者資格を取得された目的についてお話していただけますか。

寺林 私は音声系ソリューションを中心とした業務を長年にわたり取り組んできました。そこで、IP電話の中核技術であるVoIP技術に対して、自分がどの程度の知識、技術を持っているのか、自分の実力を試してみる思いで、VoIP認定技術者資格制度の中のVoIPアドバイザ資格を受験しました。また今後、音声系ソリューションに関連した業務に取り組むにあたり、その再スタートのきっかけとして、同資格の取得を捉えていたところもあります。

いつ受験をされたのですか。

寺林 2004年の6月です。以前からこの資格制度があることは知っていましたが、実際に受験したのは、つい最近です。その理由として、最近の業務の中で、IP-PBXやIPセントレックスなどのVoIP技術に関連した案件が多くなってきたことがあげられます。このような業務に取り組む中で、「確かVoIP技術者を認定する資格制度があったな」と、この資格制度のことを思い出し、認定制度の内容や受験方法、受験に必要な知識などを調べ始めました。

いろいろと調べられた中で、この認定制度にどのような印象を持ちましたか。

寺林 「音声からIPまで、これほど広範囲の内容を認定する資格は、他にはないな」と思いました。従来の認定資格制度では、製品に特化したものが多く、またIPに比重を置いて、音声の基本技術などにはあまり触れていないものもあります。しかし、私が取得したVoIP

アドバイザ資格は、TPC/IPなどの基本から、VoIPの原理や使用されるプロトコルの知識、そして、VoIP機器の特徴や機能までが出題範囲に含まれています。この出題範囲を知った時、「音声を知っていないと取得できないな」と思いました。その一方で、私は音声系ソリューションを長く取り扱ってきましたが、自分の実力を試すには「最適な資格だな」とも思いました。

IPTPCでは、各資格に対応したトレーニングコースが用意されていますが、受講はされましたか。

寺林 今回の資格取得に対しては、「現在の自分の実力を試したい」との思いが強くありましたので、トレーニングは何も受講しませんでした。VoIPアドバイザ資格は、VoIP製品を的確に紹介できる営業力を認定する資格ですので、私がこれまで培ってきた知識をもとに取得することができたのだと思います。しかし、ネットワーク設計におけるSE力を



NTTコミュニケーションズ㈱
ITマネジメントサービス事業部
アウトソーシングサービス部
寺林 修氏

TOPICS

IP電話普及推進センタによるVoIP認定技術者資格の取得者数が2004年4月に2,000人を突破。2004年9月には3,000人を突破する見込み。

認定するVoIPデザイナー資格や、障害調査や施工・運用技術を認定するVoIPコンストラクタ資格を取得する際には、その内容に沿ったトレーニングを受講しなければ取得できないと思います。

取得された資格を現在の業務でどのように活用されていますか。

寺林 現在は、音声系を中心とした社内ネットワークの構築と保守・運用業務に取り組んでいます。このような業務を行う上で、今回の資格取得は、お客様との信頼関係を形成するのに大いに役立っています。例えば、お客様と名刺を交換した際に、私の名刺に付いている資格取得のロゴマークについて質問されることが多々あります。そこで「このロゴマークは...」と説明するのですが、このようなことがなかった取得前の時と比べると、その後の提案等に対するお客様の反応が大きく違います。やはり、専門の技術者の“声”には、快く耳を傾けてくれますね。

【VoIPデザイナー資格】 目には見えない技術が 資格取得により見えてきます

㈱三和エレクトロニクス
永野 隆浩氏

はじめに、現在担当されている業務についてお話をください。

永野 現在、私はネットワークシステム事業本部ネットワークエンジニアリング事業部に所属していますが、2004年7月までは、NTT事業本部ブロードバンドシステム事業部に所属していました。このブロードバンド事業部は、通信キャリアを対象としたネットワーク系ノードの通信設備工事等が主業務となっていました。しかし、昨今の携帯電話の普及やIP化に伴い、既存ノードの設備工事のニーズが少なくなってきました。そこで、私が所属していた部門では、エンドユーザー向けの新規事業として、IP電話に関連したビジネスへの取り組みを開始しました。

当社では、既に他の事業部でIP電話事業が展開されていましたが、私の部門が取り組んでいた活動は、当社の事業拡大プランに基づいた起業活動の一環として進めていたものです。その後、2004年8月に現在の部署に異動しましたが、IP電話ビジネスの拡大に向けた取り組みは、現部署でも継続して行っています。

VoIP認定技術者資格を取得されたきっかけについてお話をください。

永野 VoIP認定技術者資格の取得を検討し始めたのは、ブロードバンドシステム事業部での活動を開始した2003年5月頃からです。同事業部はネットワーク系のノードの通信設備工事が業務の中心でしたので、ビジネス拡大に向けたIP電話の技術やノウハウを習得するために、VoIP技術に定評のある沖電気様とビジネスパートナー契約を結びました。同時に、IPTPCが主催しているVoIP教育プログラムを知り、他のメンバーと同資格の取得に向けて



(株)三和エレクトリック
ネットワークシステム事業本部
ネットワークエンジニアリング事業部
永野 隆浩氏

TOPICS

2004年7月、IP電話普及推進センターのVoIP認定技術者教育プログラムをリニューアル。

動き出しました。そして、各資格の内容に応じたITPTCのトレーニングを受講した後、2003年11月に資格を取得しました。私が取得対象とした資格は、ネットワーク設計VoIPデザイナーのOKIコースです。現在(2004年8月末)当社では、私を含めてVoIPアドバイザ資格取得者が7名、VoIPデザイナー資格取得者が3名います。

取得された資格を現在の業務でどのように役立てていますか。

永野 主にIP電話導入プランの作成や提案営業活動の場で、資格取得の際に学んだVoIPシステムを設計するために必要な知識や各種VoIP製品の特徴や用途に関する知識が役立っています。VoIP技術とは、もともと目に見えない技術です。それをアピールするためには、誰にでも証明することができる“資格”を取得することがベストだと思います。また、資格を取得することで、VoIP技術者としてのモチベーショ

ンもあがりました。VoIP技術者のニーズは、今後も高まると思いますが、ひと言でVoIP技術者といっても、その内容は、既存電話交換機技術からLAN・ネットワーク技術まで幅広く、奥の深い技術・知識が要求されます。VoIP技術者として、お客様のニーズに応えられる技術・知識を身に付けているのか、このVoIP認定技術者資格の取得をきっかけに、現在の自分に必要な技術・知識を知ることができました。

現在、VoIP認定技術者資格の取得を検討されている方に向けて、アドバイスをいただけますか。

永野 今後、映像通信やユビキタス環境への対応ニーズが高まる中で、情報通信技術の変化に対応した技術取得方法として、このVoIP認定技術者資格制度があげられます。特に既存の電話交換技術やLAN・ネットワーク技術などの資格を取得している技術者にとっては、自身のスキルアップに貢献してくれると思います。

IP電話普及推進センター

VoIP認定技術者資格制度

沖電気とNECが共同運営しているIP電話普及推進センターの「VoIP認定技術者資格制度」は、IP電話の普及を目的に、業界で統一的な水準のVoIPの技術者(SE)、営業スタッフ、施工・保守者等を認定する資格制度です。現在の資格の種類は、条件に応じたVoIP機器の提案ができる「VoIPアドバイザ資格」、環境・設備に応じたシステム構築・設計が行える「VoIPデザイナー資格」、VoIP機器の施工や保守ができる「VoIPストラクチャ資格」。資格取得に必要な知識や技術を習得する教育プログラムも用意されている。資格試験は、CBT(コンピュータによる試験)により全国の試験会場で受験できます。

【資格の種類】 VoIPアドバイザ(対象:営業、必要な知識:基礎+概要)
VoIPデザイナー(対象:SE、必要な知識:基礎+機能、OKIまたはNECコースのどちらかを選択)
VoIPストラクチャ(対象:工事・保守、必要な知識:基礎+施工、OKIまたはNECの機器を選択)
VoIPマスタ(計画中)

【教育プログラム】 VoIPスタートアップ研修、VoIPベーシック研修、VoIPアドバイザ研修、VoIPデザイナー研修など

【お問い合わせ先】

IP電話普及推進センター

URL:<http://www.iptpc.com/index.html>
E-mail: iptpc-edu@oki.com